

2020年10月28日
損害保険ジャパン株式会社

「ドライビング！」利用者向け 安全運転をすると保険料が割引になる「走行特性割引」を新設 ～ドライブレコーダーで安全運転技術を判定し、交通事故の無い社会を目指すための取り組み～

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、ドライブレコーダーを活用した安全運転支援サービス「ドライビング！※」による運転診断の結果、安全運転と判定されたお客さまを対象に、自動車保険料を5%割り引く「走行特性割引」を2021年1月から新設します。

※「ドライビング！」は、「ドライブレコーダーによる事故発生時の通知等に関する特約」を付帯した自動車保険契約に提供されるサービスです。

（注）2021年1月以降を保険始期日とする契約の一定期間の安全運転技術を計測した結果、安全運転と判定された場合、その継続契約が「走行特性割引」の対象となります。

1. 割引新設の背景・趣旨

2018年1月に提供を開始した「ドライビング！」は、『お客さまが安心して自動車を運転でき、交通事故が起こらない社会の実現に貢献すること』を目的として、以下のサービスを提供してきました。

- ・事故発生時の自動通報・手動通報
- ・事故発生時のデータを使用した責任割合算定システムを通じた迅速な事故対応
- ・事故現場への ALSOK かけつけ安心サービス
- ・安全運転の意識向上に役立つ走行データをもとにした運転診断レポート

今回、これらのサービスを通して蓄積された数百万件のビッグデータを機械学習で分析し、お客さまの安全運転技術（交通事故の起こしにくさ）を判定する運転診断モデルを高度化することで、お客さまの運転技術のスコアに応じた割引を実現しました。

スコアの上昇や割引適用のためには速度超過や危険挙動（急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルなど）を行わないことが必要です。割引を通じて優良ドライバーを増やし、社会全体の交通事故の未然防止に貢献していきます。

走行特性割引の提供により、2018年1月から提供している6(S)等級、7(S)等級のお客さま向けの安全運転割引と合わせて、全ての等級のお客さまに対して安全運転技術判定による割引提供を実現しました。

2. 商品概要

「ドライビング！」で提供するドライブレコーダーから取得した自動車の走行データをもとに「運転特性スコア」を算出します。スコアが80点以上の場合に、継続後のご契約の保険料※¹に「走行特性割引」を適用し、5%割り引きます※²。

※¹ 長期契約で、翌年も契約が変わらない場合は、同一契約の翌保険年度の保険料

※² 「走行特性割引」を適用するための条件などを定める「保険料算出に関する特約（運転特性反映型）」を新設します。

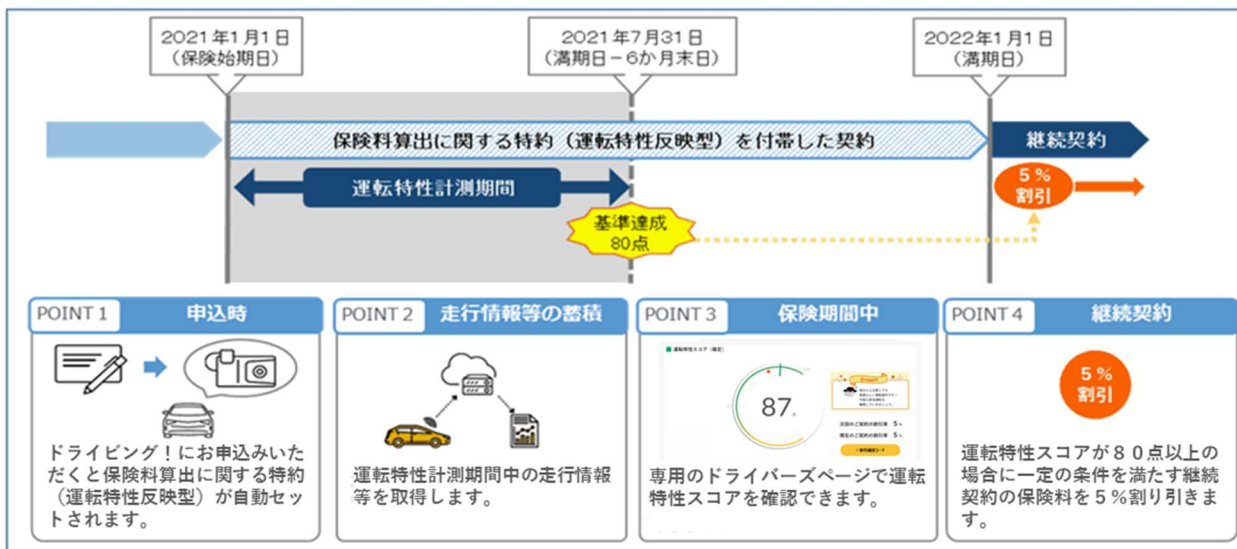
「ドライビング！」にお申し込みいただいた場合に自動セットされ、これによる保険料の割増はありません。

<安全運転技術の判定画面と運転特性スコアのイメージ>



<割引適用のイメージ>

保険料算出に関する特約（運転特性反映型）を初めて付帯する1年契約の場合の例



(ご参考) 安全運転技術判定による既存商品との保険料割引の比較

| | 走行特性割引 (新設) | 安全運転割引 (2018年1月提供開始) | | |
|------------|----------------------|----------------------------|----------|----------|
| 対象となるお客さま | 自動車保険のご契約を継続いただくお客さま | 自動車保険を新規でご契約いただくお客さま | | |
| ノンフリート等級 | 6 (S)・7 (S) 等級以外 | 6 (S)・7 (S) 等級 | | |
| 走行データの取得方法 | 「ドライビング!」のドライブレコーダー | スマートフォンアプリ「ポータブルスマイリングロード」 | | |
| 割引対象スコア | 運転診断のスコアが80点以上 | 運転診断のスコアが60点以上 | | |
| 割引率 | 5% | スコア | 6 (S) 等級 | 7 (S) 等級 |
| | | 80~100点 | 20% | 5% |
| | | 60~79点 | 12% | 3% |

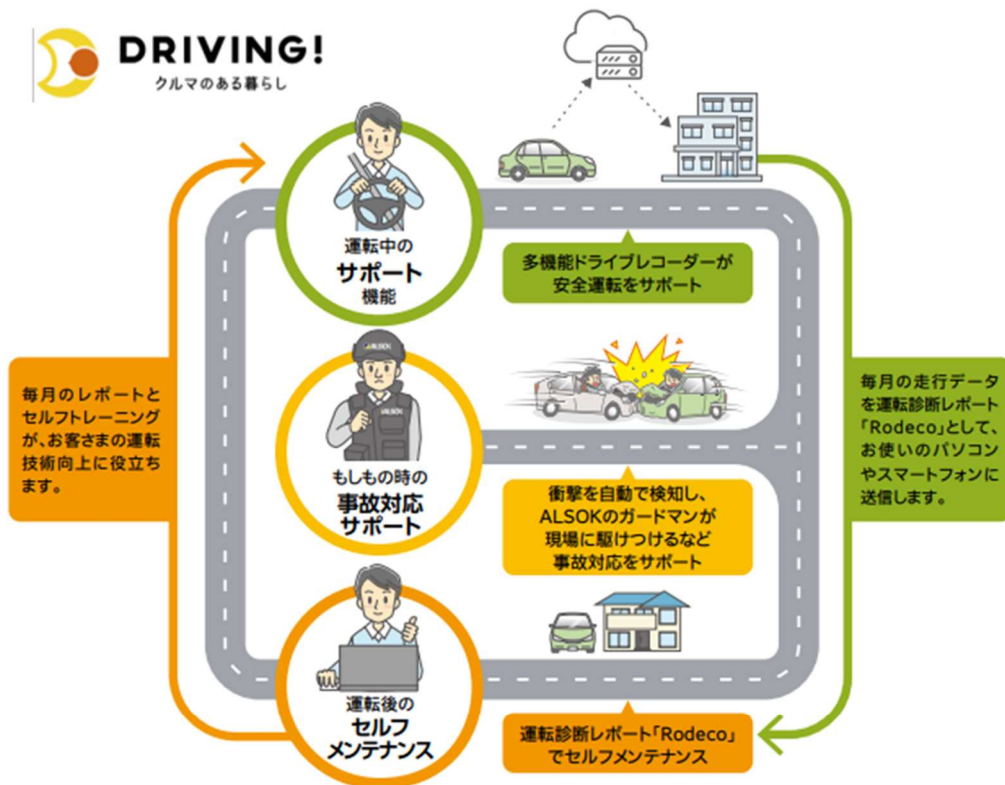
3. 損保ジャパンのデジタル分野に関する今後の商品戦略

走行データを活用した合理的な保険設計や、映像データを活用した迅速な事故対応・保険金支払のサービス等、ビッグデータを活用した商品・サービスを開発し、今後もお客さまの安心・安全・健康に資する最高品質の商品・サービスを提供していきます。

全てのお客さまとつながり、Maas や自動運転時代において、「事故のない安心・安全な社会の実現」に貢献することで、「社会になくてはならないSOMPO」となることを目指していきます。

以上

【ご参考】「ドライビング！」の概要



運転中のサポート機能

- 多機能ドライブレコーダー
前方車両との衝突を回避または削減するため、ドライバーに適切な車間距離を促す「車間アラート」を搭載しています。通常のドライブレコーダーと同様に走行時の録画が可能のため、万一の事故発生時に、ドライブレコーダーの映像で事故状況を確認することもできます。また、ヒヤリハット画像(急発進、急加速、急ブレーキなどの危険な運転挙動時の画像)を振り返ることで安全運転の意識向上を図ることができます。

もしもの時の事故対応サポート

- 事故発生時の自動通報・手動通報
万一の事故時に衝撃を自動で検知し、自動または手動通報により当社への事故連絡やロードアシスタンスの依頼ができます。
- ALSOKかけつけ安心サービス
自動通報・手動通報を活用し、ALSOKのガードマンをお客さまの事故現場に呼ぶことができます。
- 迅速な事故対応
事故状況のデータが保険会社に伝わるため、事故状況のヒアリングが軽減され、迅速な事故対応ができます。

運転後のセルフメンテナンス

- 運転診断レポート(Rodeco)
多機能ドライブレコーダーから得られた運転データに基づき、ドライバーズページ上で運転診断レポートを提供します。ご自身の運転を振り返ることができ、安全運転の意識向上に役立ちます。